

長期投資家の皆様へ

世界の金融市場は中国リスクへの反応を画一的に示す弱含みの展開の中で、暫くは目先のデータや情報に一喜一憂しながら変動幅の大きなマーケット環境が続きます。

日々の市場変動への最大の要因は中国経済の減速、というよりも中国の構造的な衰弱に対する世界経済への懸念でありましょう。中国の落ち込みは世界経済の需給にどのような影響を及ぼすのか。今は専ら悲観的要素に塗られています、暫しすると市場も冷静に事象を織り込みつつ、プラスマイナスの峻別が起ころでしょう。

それは対中貿易に偏った国や資源国など中国依存度の高い経済のマイナスと同時に、新たな成長機会を得る経済の台頭が、グローバル化構造においては両面で顕在化するという事です。

中国の衰微は今後のメガトレンドだと定着する一方で、米国経済の足場固めは堅調であり、利上げ時期が目先の市場を揺さぶりますが、それも米国景気の力強さを裏付ける材料であって、世界経済全体では日本・欧州も含め先進国経済主導での成長軌道を前提とする、ニューパラダイム確立を示すものと考えられます。

そして新興国は中国からの主役交代で、その影響から厳しい試練が続く国と、新たな成長エンジンとなり得る地域に二極化するカタチで、それでも地球経済全体では相応の成長軌道が堅持される。これがグローバル化のメガトレンドでありましょう。

相場は全体に底値固めに向けた調整局面にありますが、先進国経済全体のファンダメンタルズは引き続き良好です。短期投機筋には値動きを追って右往左往する悩ましい環境ですが、長期投資家にとっては、下がった処が絶好の買い場になる機会であり、粛々と買い方に廻れる仕込み時期と捉えつつ、進んで行けるわけです。

中野 晴啓

今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

株式市場は下落しました。

序盤、中国で製造業の景況感指数の低下が確認され、中国景気の先行きに対する警戒が一段と高まるなかで、米国やイギリスでも製造業の景況感指数が予想以上に低下したことから、景気の先行きへの懸念が広がって株式市場は下落し、その後はユーロ圏で金融緩和の拡大期待が高まったことを受けて、安心感が広がって反発する局面もあったものの、米国の利上げ観測が根強いこともあり、軟調な展開が継続しました。

中盤にかけては、中国で輸入の低迷が確認され、中国経済の先行きに対する警戒が一段と高まる局面もあったものの、その後は中国の株式市場が比較的落ち着いた動きとなったことなどを背景に、リスクを避ける動きが後退して反発に転じ、中盤まで堅調な展開が継続しました。その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたものの、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長の記者会見を受けて、中国など新興国経済の減速による世界経済の停滞への懸念が高まり、リスクを避ける動きが強まったほか、企業業績の先行きへの不透明感が強まって、終盤まで下落基調となりました。

9 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物（WTI/直近限月）/1 バレル	45.09 ドル	-8.35%
NY 金先物（中心限月）/1 トロイオンス	1115.2 ドル	-1.53%

米国で利上げが見送られたこともあり、世界的な金融緩和環境がより長期間維持されるとの見方が強まっているものの、新興国をはじめとして世界経済の先行きに対する不透明感が高まっており、株式市場は軟調な動きが続いています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

9 月度の市場動向について

米国株式

米国の株式市場は、下落しました。

序盤、中国で製造業の景況感指数の低下が確認され、中国経済の先行きに対する警戒が高まるなかで、米国でも製造業の景況感指数が一段と低下したことが確認され、米国経済の力強さに対する懸念が広がったことを受けて下落し、その後は非製造業の景況感指数が予想以上に上昇して反発する局面もあったものの、雇用統計の内容が力強さを欠き、景気の先行きに対する明るい見方が広がらない一方、早期の利上げ観測を払拭するものでもなかったことから不透明感が広がって、再び下落に転じました。

中盤にかけては、中国の株式市場が比較的落ち着いた動きとなったことなどを背景に、リスクを避ける動きが後退して、株式市場は上昇基調となり、中盤には、8月の小売売上高の堅調な拡大が確認されたことなどにより、米国経済の先行きへの明るい見方が広がって一段と上昇しました。その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたほか、参加者の金利の見通しも引き下げられたものの、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長の記者会見を受けて、中国など新興国経済の減速による米国経済への影響に懸念が高まったことから、下落に転じました。

終盤には、4-6月期のGDPが一段と上方修正され、足元の景気の堅調さが確認されたものの、中国など新興国経済の減速を受けて、企業業績の先行きに不透明感が高まったこともあり、下落基調となりました。

9 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	16284.70	-1.47%
S&P500（米ドル）	1920.03	-2.64%
ナスダック総合指数（米ドル）	4620.165	-3.27%

9月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られ、米国では2008年12月以来、7年近く事実上のゼロ金利が継続しています。

欧州株式

欧州の株式市場は、下落しました。

序盤、中国経済の先行きに対する警戒が高まるなかで、イギリスで製造業の景況感指数が予想外に低下したことなどから、欧州経済の先行きへの懸念が広がって軟調な展開となりました。その後は欧州中央銀行（ECB）理事会後の記者会見でドラギ総裁が金融緩和に前向きな姿勢を示し、安心感が広がって上昇する局面もあったものの、ドイツで7月の製造業受注が予想以上に減少し、ドイツ経済の先行きに対する明るい見方が後退したことなど背景に、下落しました。

中盤にかけては、中国の株式市場が比較的落ち着いた動きとなり、安心感が広がって上昇する局面もあったものの、ドイツで7月の鉱工業生産がやや弱い内容となったほか、イギリスで7月の鉱工業生産や輸出の低迷が確認されたことから、欧州経済の先行きに対する明るい見方は広がらず、その後は反落に転じました。中盤以降は、ユーロ圏の物価の低迷が確認され、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和の拡大期待が高まったこともあって堅調な展開となる局面もあったものの、中国など新興国経済の減速への懸念から、下落基調となりました。

終盤にかけては、独フォルクスワーゲンの不正問題発覚を受けて、関連銘柄などが下落したほか、その後発表されたユーロ圏の景況感指数もドイツを中心に力強さを欠くものとなったことから、終盤まで下落基調となりました。

9 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	9660.44	-5.84%
仏 CAC 指数（ユーロ）	4455.29	-4.25%
英 FT100 指数（英ポンド）	6061.61	-2.98%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	8513.41	-3.53%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	117.25	-4.38%

イギリスの景気は、量的緩和策が早めに打ち出されたこともあって堅調に推移してきましたが、海外の景気減速の影響により、鉱工業生産と輸出が共に落ち込むなど、先行きに対する不透明感が高まってきています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

日本株式

国内の株式市場は、下落しました。

序盤、中国で製造業の景況感指数の一段の低下が確認され、中国経済の先行きに対する警戒が高まったほか、米国でも製造業の景況感指数が予想以上に低下したことで米国の利上げ観測が後退して対ドルで円高となったことから、株式市場は下落しました。その後は、7月の毎月勤労統計調査で現金給与総額の伸びが予想に届かなかったことから、個人消費の先行きにも懸念が拡がり、下落基調が継続しました。

中盤にかけては、中国で輸入の落ち込みが確認され中国経済の先行きへの不安が拡がって一段と下落する局面もあったものの、中国の株式市場が比較的落ち着いた動きとなったことなどを背景に、リスクを避ける動きが後退して為替市場で円安基調となったことを受けて大きく上昇しました。しかし、その後発表された機械受注では設備投資の先行指標となる船舶・電力を除く民需が予想外の前月比マイナスとなったことで、先行きへの不安が拡がって軟調な展開となりました。

中盤には、8月の貿易統計で輸出の伸び悩みが確認される中でも、中国の株式市場が比較的落ち着いた動きとなったことを背景に安心感が拡がって堅調な展開となる局面もあったものの、その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたことなどをを受けて、為替市場でやや円高基調となったことや、中国を始めとする新興国経済の先行きへの懸念が高まったことやを受けて反落に転じ、企業業績への懸念も高まるなかで、終盤まで下落基調となりました。

9 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	17388.15	-7.95%
TOPIX[東証株価指数]	1411.16	-8.19%
MSCI Japan 指数（円）	855.77	-8.49%

8月の貿易統計では、中国向けと欧州連合（EU）向けの輸出が前年比でマイナスとなるなど輸出が伸び悩んでいることが確認され、海外の景気減速による国内景気の下押し懸念が高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）の株式市場は、下落しました。

序盤、中国で製造業の景況感指数の一段の低下が確認され、中国経済の先行きに対する警戒が高まって、株式市場は下落基調となり、その後もオーストラリアの4-6月期のGDPが輸出の減少や消費の低迷により予想を下回る伸びに留まったことや、7月のオーストラリアの小売売上高が予想外の前月比マイナスとなったことでオーストラリア経済の先行きに対する懸念が拡がって、下落基調が継続しました。

中盤にかけては、中国の株式市場が比較的落ち着いた動きとなったことを受けて安心感が拡がり大きく上昇する局面もあったものの、中国の貿易統計で輸入の低迷が確認されたことや鉱工業生産の伸びが予想を下回ったことなどをを受けて、中国経済の先行きに対する懸念が一段と高まったことから、その後は軟調な展開となりました。

中盤以降は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られことで安心感が拡がり堅調な展開となる局面もあったものの、終盤には、中国で製造業の景況感指数の一段の低下が確認され、中国経済の先行きへの不安が一段と高まったことなどをを受けて下落基調となりました。

9 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1053.34	-4.15%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	5021.630	-3.56%
香港ハンセン指数（香港ドル）	20846.30	-3.80%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2790.89	-4.47%

オーストラリアのGDPは、リーマンショックの直後も景気後退には陥らず、底堅さを見せていましたが、4-6月期のGDPは、輸出の反動減や個人消費の低迷により、低い伸びに留まっており、中国経済の減速による資源需要の低迷を受けて、先行きに対する不透明感が高まっています。

9 月度の市場動向について

新興国株式

新興国の株式市場は、上昇する国もあったものの、概ね下落しました。

序盤に発表された製造業の景況感指数は、中国で一段と低下するなど、多くの国で低迷が確認され、新興国経済の先行きへの懸念が高まるなかで、米国の製造業の景況感指数が予想以上に低下したことを受けて米国の利上げ観測が後退したものの、軟調な展開となりました。

中盤にかけては、中国の8月の貿易統計で輸入が予想以上に落ち込んでいることが確認され、中国経済の先行きへの懸念が一段と高まったものの、政府による株価支援策や財政支出の拡大への期待から中国の株式市場が反発に転じて警戒が和らぎ、アジア地域の新興国を中心に上昇しましたが、格付会社のスタンダードアンドプアーズ (S&P) がブラジルの長期外債建て債務の格付けを投資不適格級に引き下げたこともあり、新興国経済の先行きに対する明るい見通しは拡がらず、力強さを欠く展開となりました。

中盤には、中国の8月の鉱工業生産が予想を下回る伸びに留まり、中国経済の先行きへの警戒が一段と高まったものの、その後開催された米連邦公開市場委員会 (FOMC) で利上げが見送られたことから安心感が拡がって、上昇基調となりました。

終盤にかけては、米連邦公開市場委員会 (FOMC) 後のイエレン米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の見聞記者会見での発言などを受けて、新興国経済の減速懸念が意識される中で、中国で製造業の景況感指数の一段の低下が確認されたことやブラジルで財政再建策の行方が不透明なものとなったことから、先行きへの不透明感が一段と高まって新興国の株式市場は反落に転じ、終盤まで軟調な展開となりました。

9 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数 (米ドル)	792.05	-3.26%
ブラジルボベスパ指数 (ブラジルレアル)	45059.34	-3.36%
中国上海指数 (中国元)	3052.782	-4.78%
韓国総合株価指数 (韓国ウォン)	1962.81	+1.10%
台湾加権指数 (台湾ドル)	8181.24	+0.08%
ロシア RTS 指数 (米ドル)	789.73	-5.26%
S&P/BSE SENSEX 指数 (インドルピー)	26154.83	-0.49%
南アフリカ全株指数 (南アフリカランド)	50088.86	+0.23%

資源需要の拡大観測などによる経済への明るい見通しや財政の改善期待が高まったことを受けて、2008年に格付会社のスタンダードアンドプアーズ (S&P) は、ブラジル長期外債建て債務の格付けを投資適格級に引き上げましたが、中国経済の減速などによる資源需要の低迷や政治的混迷などを背景に、財政状況が悪化したことなどを受けて、再び格付けを投資不適格級に引き下げました。これは、新興国経済の先行きに対する楽観的な見方が大きく後退したことを象徴する例ですが、多くの新興国の潜在的な経済成長率は先進国と比べると依然として高く、過度に悲観的になる必要は無いと考えています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

9 月度の市場動向について

世界の債券市場についての概況

債券市場は、景気の先行きへの懸念が高まるなかで、安全資産としての需要が高まって概ね堅調な展開となり、終盤には米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたこともあり、世界的に金融緩和環境が長期間継続するとの見方が強まって、一段と上昇しました。

米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、上昇しました。

前半、中国や米国で製造業の景況感指数の低下が確認され、景気の先行きへの懸念が高まったことや雇用統計が力強さを欠き、利上げ観測が高まらなかったことを受けて堅調な展開となりました。中盤には、中国の株式市場がやや落ち着いた動きとなったことで安全資産としての米国債の需要が低下したほか、堅調な小売売上高などを受けて米国経済の先行きに対する明るい見方が広がってやや軟調に推移する局面もあったものの、その後は米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られ、参加者の金利の見通しも一段と引き下げられたほか、景気の先行きへの懸念が高まったことを受けて上昇しました。

9 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	2.037%付近	-0.181%

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、主要国と周縁国の国債が共に上昇しました。

序盤に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会で量的緩和プログラムが国債の買入れを容易にするように修正されたほか、理事会後の記者会見でドラギ総裁が金融緩和に前向きな姿勢を示したことを受けて安心感が広がって主要国と周縁国の国債が総じて上昇基調となりました。中盤以降は、ユーロ圏で消費者物価指数の低迷が確認され、金融緩和の拡大期待が高まるなかで、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたほか、景気の先行きへの懸念が高まったことを受けて、上昇しました。

9 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	0.587%付近	-0.211%

日本債券市場（国債）

日本の国債市場は上昇しました。

国内の景気の先行きに対する明るい見方が広がらず、株式市場の値動きが大きくなっていることを背景に、債券への需要が高まって堅調な展開が続き、終盤には米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたことを受けて、一段と上昇しました。

9 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.356%付近	-0.024%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

9 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

9月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）では、利上げが見送られたものの、米国経済は比較的堅調に推移しており、年内に最初の利上げが行われるとの見方も引き続き有力であることから、ドルは堅調な展開となりました。ユーロは、リスクを避ける動きが強まる中でも、欧州中央銀行（ECB）が引き続き、緩和に前向きな姿勢を示しているほか、物価の低迷が確認されていることから、追加緩和への期待が高まっており、上昇には力強さを欠く展開となりました。

円は、中国を始めとする新興国経済の先行きに対する懸念の高まりなどを受けて、リスクを避ける動きが強まるなかで堅調な展開となり、対ドル、対ユーロで上昇しました。

また、新興国通貨では、格付会社のスタンダードアンドプアーズ（S&P）がブラジルの長期外貨建て債務の格付けを投資不適格級に引き下げたこともあり、ブラジルレアルが大きく下落しました。

ドル・円

円はドルに対して、上昇しました。

序盤、米国で製造業の景況感指数の低下が確認されたことや雇用統計がやや力強さを欠く内容となったことで、利上げ観測が後退してドルがやや軟調な展開となる一方、円は景気の先行きに対する不透明感の高まりを受けてリスク回避志向が高まり上昇したことから、対ドルで円高となりました。中盤にかけては、米国経済の堅調さが確認されたことや中国の株式市場がやや落ち着いた動きとなったことによりリスク回避志向が後退したことから円は対ドルで下落に転じました。その後は米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが見送られたものの、年内に最初の利上げが行われるとの見方が有力なことからドルは堅調な展開となり、円も世界的に株式市場が下落基調となり、リスク回避志向が高まるなかで上昇したことから、円は対ドルで小幅な動きとなりました。終盤には景気の先行きへの懸念が高まるなかで、リスク回避の動きが強まって円が一段と上昇し、対ドルでやや円高となりました。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

ユーロ・円

円はユーロに対して、上昇しました。

序盤に開催された欧州中央銀行（ECB）理事会後の記者会見でドラギ総裁が金融緩和に前向きな姿勢を示した一方で、円は景気の先行きに対する不透明感の高まりを受けてリスク回避志向が高まり上昇したことから、対ユーロで円高となりました。中盤にかけては、中国の株式市場がやや落ち着いた動きとなったことによりリスク回避志向が後退して円が下落に転じ、対ユーロで円安となりました。中盤以降は、リスク回避の動きが強まるなかで、ユーロ圏で消費者物価指数の低迷が確認されたことを背景に追加の金融緩和観測が高まったことを受けてユーロが力強さを欠く展開となる一方、円が上昇したことから、対ユーロで円高となりました。

9 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	119.88	-1.11%（円高）
円／ユーロ	133.98	-1.39%（円高）
ユーロ／ドル	1.1177	-0.29%（ユーロ安）

*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

「セゾン資産形成の達人ファンド」
運用概況（2015年9月30日現在）

今月のマーケット

株式：【米国の利上げは見送られたものの、新興国経済の減速が先進国に波及することに対する懸念が高まり下落】

先進国の中央銀行は引き続き景気に配慮する姿勢を示しているものの、中国を始めとする新興国経済の減速への警戒が一段と高まり、先進国経済もその影響を受けて停滞するとの懸念が高まったことにより、企業の業績見通しが不透明なものとなり、下落しました。

為替：【景気の停滞懸念が高まり、資源価格が下落基調となったことを受けて資源国通貨が下落し、主要国通貨は堅調】

資源価格の下落により資源国通貨が下落する一方、ドルは利上げが見送られたものの堅調な展開となり、ユーロも追加緩和期待が高まったものの堅調な展開となりました。円は終盤、リスクを避ける動きが強まるなかで上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでの購入やスポット購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、バンガード米国オポチュニティファンド、アライアンス・バースタイン米国株式集中投資ファンド、コムジエストエマージングマーケットファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、コムジエストヨーロッパファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から僅かに上昇し、月末時点で 1.6%となっております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

ファンドマネジャーからの一言

現在、中国を始めとする新興国経済の先行きに対する楽観的な見方は懸念へと転じ、新興国経済の減速が先進国経済へ与える影響が懸念されており、世界経済の先行きへの見方は、数年前とは大きく異なったものになっています。

参加者の将来に対する見方を直接的に反映する金融市場では、大きな変動が起こることが避けられず、金融市場の参加者は現在のトレンドが将来も続くと考えられる傾向がある一方、大きな理由が無いにも関わらず突然見方が変わることがある為、市場の先行きを見通すことは困難ですが、長期投資においては市場の先行きを見通すことは重要ではありません。

長期投資において重要なものは投資している資産が生み出す価値であり、長期的な視点で分散投資を行うことにより、悲観的な見方が支配している地域で生まれる魅力的な投資機会を利用していくことが、資産の成長につながるものと考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

セゾン資産形成の達人ファンド
9 月度運用レポート

I：ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2015年9月30日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	15,317円
純資産総額	257.6億円

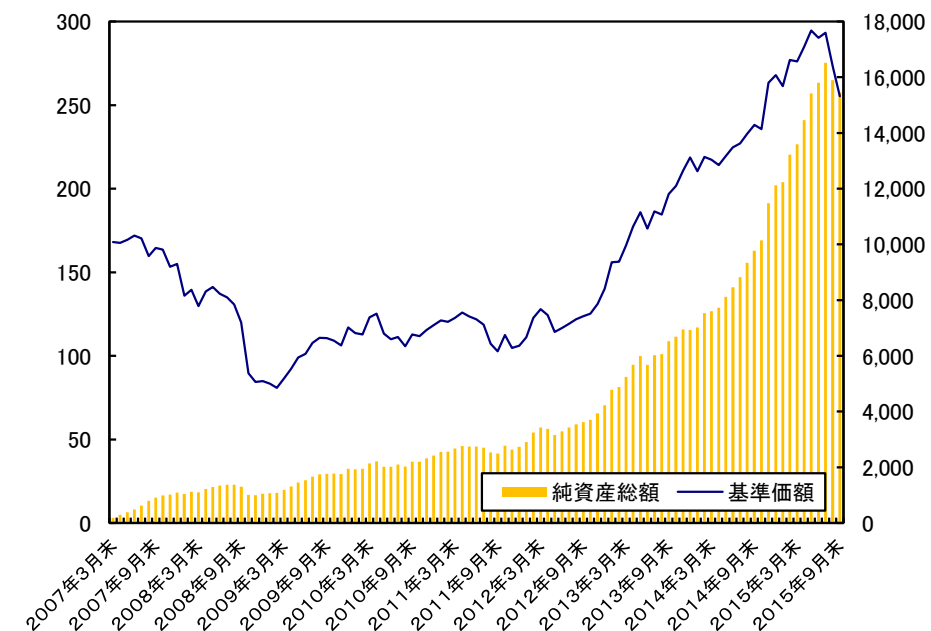
設定来騰落率	53.17%
過去1ヶ月間の騰落率	-6.50%
過去6ヶ月間の騰落率	-7.58%
過去1年間の騰落率	7.22%
過去3年間の騰落率	106.46%

*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2015年9月30日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	4,601	2009年3月11日
設定来高値	17,933	2015年7月21日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

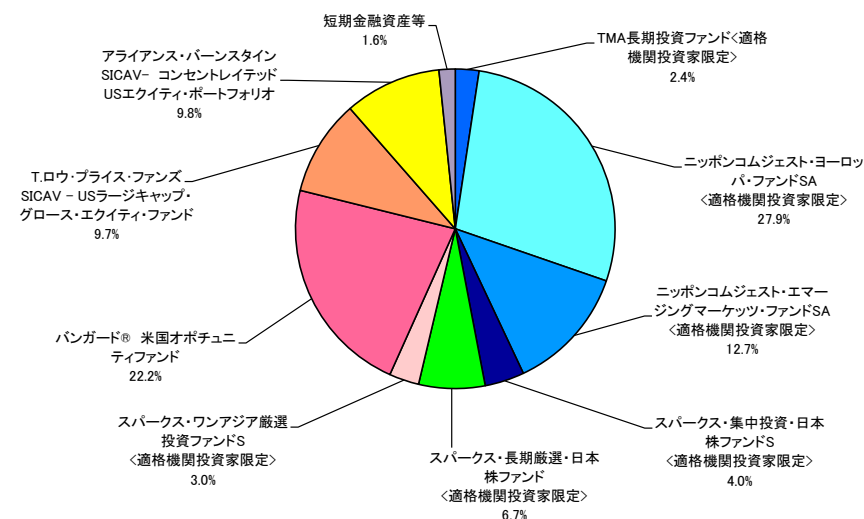
販売用資料
2015.10.5

Ⅱ：ファンド資産の状況（2015年9月30日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
TMA長期投資ファンド<適格機関投資家限定>	2.4%
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA <適格機関投資家限定>	27.9%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA <適格機関投資家限定>	12.7%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	4.0%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	6.7%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	3.0%
バンガード® 米国オポチュニティファンド	22.2%
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	9.7%
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	9.8%
短期金融資産等	1.6%
合計	100.0%

資産配分状況(2015年9月30日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.5832%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.49%となります。

（実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
9 月度運用レポート

参考：国別投資比率、業種別投資比率（2015年8月31日現在）

国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

国名	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
アメリカ	43.5%	52.4%	-8.9%
日本	12.8%	8.0%	4.8%
フランス	9.0%	3.5%	5.5%
スイス	3.5%	3.4%	0.1%
イギリス	3.5%	7.0%	-3.5%
ドイツ	3.3%	3.1%	0.2%
デンマーク	3.3%	0.6%	2.7%
中国	3.2%	2.2%	1.0%
スペイン	3.2%	1.2%	1.9%
香港	2.2%	1.0%	1.1%
インド	2.0%	0.8%	1.2%
ブラジル	1.8%	0.6%	1.1%
台湾	1.4%	1.2%	0.2%
スウェーデン	1.2%	1.0%	0.1%
南アフリカ	1.1%	0.8%	0.3%
オランダ	0.8%	1.0%	-0.2%
韓国	0.7%	1.4%	-0.7%
ロシア	0.6%	0.4%	0.3%
オーストラリア	0.6%	2.2%	-1.7%
イタリア	0.5%	0.9%	-0.4%
メキシコ	0.4%	0.5%	0.0%
トルコ	0.4%	0.1%	0.3%
ポーランド	0.3%	0.2%	0.1%
チリ	0.2%	0.1%	0.1%
マレーシア	0.2%	0.3%	-0.1%
シンガポール	0.2%	0.4%	-0.3%
タイ	0.1%	0.2%	-0.1%
フィリピン	0.1%	0.1%	0.0%
インドネシア	0.1%	0.2%	-0.2%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

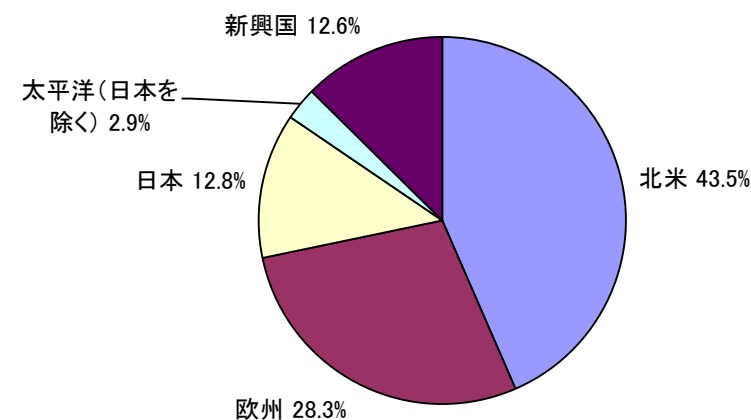
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の国は、セゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成達人ファンドの地域別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

販売用資料
2015.10.5

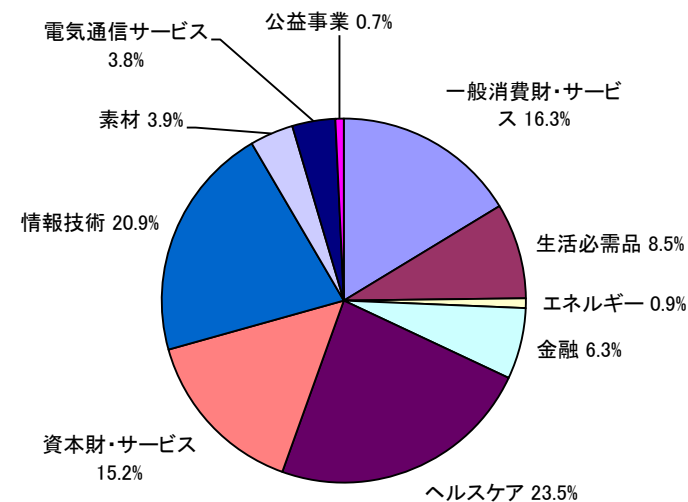
業種別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
一般消費財・サービス	16.3%	12.8%	3.5%
生活必需品	8.5%	9.9%	-1.4%
エネルギー	0.9%	6.0%	-6.0%
金融	6.3%	21.6%	-15.3%
ヘルスケア	23.5%	12.7%	10.8%
資本財・サービス	15.2%	10.4%	4.8%
情報技術	20.9%	13.9%	7.1%
素材	3.9%	4.9%	-1.0%
電気通信サービス	3.8%	3.9%	0.0%
公益事業	0.7%	3.2%	-2.4%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

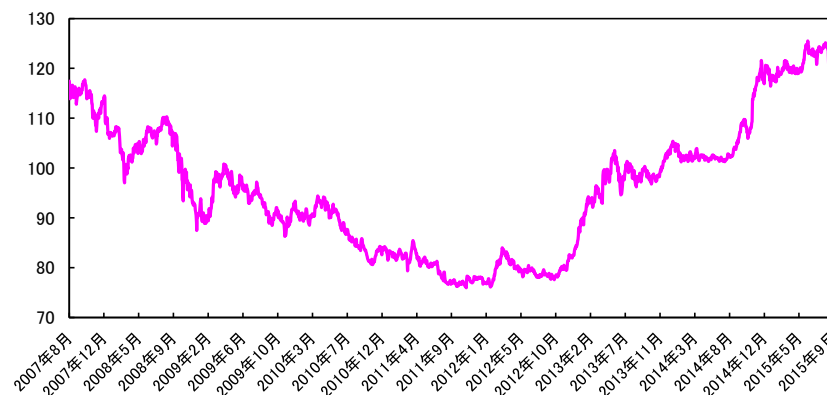
販売用資料
2015.10.5

Ⅲ：為替レートの推移

2007年8月15日から2015年9月30日までの為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

日付	円／ドル
2007年8月15日	117.44
2007年12月28日	114.15
2008年12月30日	91.03
2009年12月30日	92.10
2010年12月30日	81.49
2011年12月30日	77.74
2012年12月28日	86.58
2013年12月30日	105.39
2014年12月30日	120.55
2015年1月30日	118.25
2015年2月27日	119.27
2015年3月31日	120.17
2015年4月30日	119.00
2015年5月29日	123.73
2015年6月30日	122.45
2015年7月31日	124.04
2015年8月31日	121.18
2015年9月30日	119.96
変化率（組入来）	2.15%
変化率（9月度）	-1.01%



円／ドル

※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2015 年 9 月 30 日現在の値

TMA長期投資ファンド<適格機関投資家限定>	177.2
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA <適格機関投資家限定>	183.1
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA <適格機関投資家限定>	137.2
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	258.9
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	267.0
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	86.6
バンガード 米国オポチュニティファンド	218.5
T.ロウ・ブライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	239.0
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	92.6

2015 年 8 月 31 日の値を 100 とした場合の 2015 年 9 月 30 日現在の値（9 月の動き）

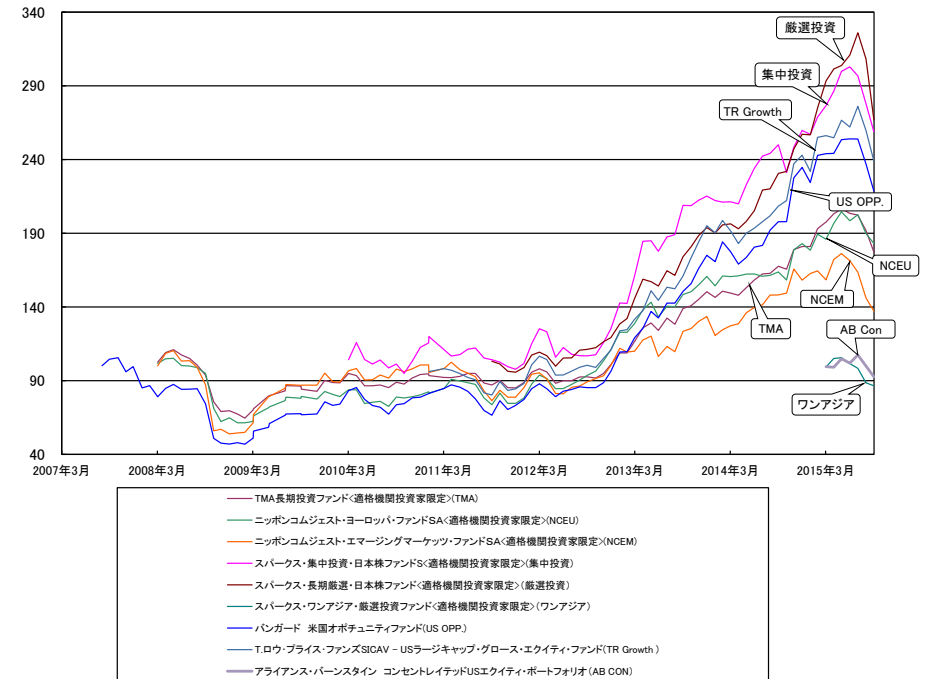
TMA長期投資ファンド<適格機関投資家限定>	92.4
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA <適格機関投資家限定>	96.5
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA <適格機関投資家限定>	93.9
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	93.2
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	86.6
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	97.8
バンガード 米国オポチュニティファンド	92.2
T.ロウ・ブライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	92.1
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	92.7

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは 2007 年 8 月 15 日、TMA 長期投資ファンド<適格機関投資家限定>およびニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 12 日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>は 2008 年 3 月 31 日、スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は 2010 年 3 月 19 日、T.ロウ・ブライス・ファンズ SICAV・USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドは 2011 年 3 月 15 日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は 2011 年 9 月 13 日、アライアンス・バーンスタイン SICAV・コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ（クラス I）は 2015 年 3 月 23 日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は 2015 年 3 月 24 日の値を 100 としして算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）

セゾン資産形成の達人ファンド
9 月度運用レポート

投資先アクティブ運用ファンドの状況

日本株式の業種には東証 33 業種分類の業種、外国株式の業種には世界産業分類区分 (GICS) のセクターを表示しています。各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第 2 位または第 3 位を四捨五入している為、合計が 100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

9 月度の騰落率は、日経平均株価の-8.0%、東証株価指数 (TOPIX) の-8.2%に対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは-10.1%でした。8 月末時点の当ファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は 14 銘柄となっています。

資産構成比率

国内株式	98.9%
現金・その他	1.1%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	電気機器	17.75%
2	卸売業	14.74%
3	その他製品	12.77%
4	化学	12.10%
5	小売業	11.04%

組入上位 10 銘柄※銘柄コード順

銘柄名	業種
花王	化学
ロート製薬	医薬品
テルモ	精密機器
日本電産	電気機器
キーエンス	電気機器
シマノ	輸送用機器
良品計画	小売業
三菱商事	卸売業
ミスミグループ本社	卸売業
ソフトバンク	情報・通信業

スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>

9 月度の騰落率は-4.7%でした。8 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。また、8 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 33 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	96.9%
現金・その他	3.1%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	化学	19.98%
2	不動産業	13.88%
3	電気機器	9.21%
4	食料品	8.58%
5	卸売業	6.58%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※銘柄コード順

銘柄名	業種
東洋建設	建設業
エス・エム・エス	サービス業
オープンハウス	不動産業
シップヘルスケアホールディングス	卸売業
日本曹達	化学
太陽ホールディングス	化学
TPR	機械
エフピコ	化学
ジャックス	その他金融業
トーセイ	不動産業

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

販売用資料
2015.10.5

TMA 長期投資ファンド<適格機関投資家限定>

9 月度の騰落率は-6.0%でした。9 月末時点の資産構成比率、国別株式投資比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.2%、マザーファンドの組入銘柄数は 37 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【東京海上長期投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	53.2%
外国株式	31.6%
短期金融資産など	15.2%

国別株式投資比率

国名	比率
日本	53.2%
アメリカ	15.7%
デンマーク	5.5%
イギリス	5.1%
フランス	2.7%
その他	2.5%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

銘柄	国	業種	組入率
1 キーエンス	日本	電気機器	4.0%
2 リンナイ	日本	金属製品	3.5%
3 エア・ウォーター	日本	化学	3.2%
4 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	3.0%
5 エムスリー	日本	サービス業	2.9%
6 ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	2.7%
7 INTERTEK GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	2.7%
8 前田道路	日本	建設	2.7%
9 アサヒグループホールディングス	日本	食料品	2.6%
10 NOVOZYMES A/S-B Shares	デンマーク	ヘルスケア	2.6%

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S<適格機関投資家限定>

9 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) *の-6.0%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S は-3.4%でした。8 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は下記の通りです。また、8 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 47 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式	70.6%
現金・その他	29.4%

国別株式投資比率と業種別投資比率

国名	比率(%)	MSCI 業種	比率(%)
1 香港	20.24%	1 金融	14.32%
2 オーストラリア	13.72%	2 資本財・サービス	12.18%
3 台湾	8.33%	3 一般消費財・サービス	10.49%
4 中国	7.43%	4 電気通信サービス	10.23%
5 韓国	7.06%	5 情報技術	8.13%
6 シンガポール	5.18%	6 公益事業	7.97%
7 フィリピン	3.35%	7 生活必需品	4.51%
8 タイ	2.97%	8 素材	1.49%
9 インドネシア	1.63%	9 ヘルスケア	1.35%
10 マレーシア	0.76%		

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

銘柄名	業種
AIA GROUP LTD	金融
CHINA STATE CONSTR	資本財・サービス
GLOBAL LOGISTIC PR	金融
GUANGDONG INVEST	公益事業
JARDINE MATHESON	資本財・サービス
POWER ASSETS HLDGS	公益事業
TAIWAN SEMICON MAN	情報技術
TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス
TENCENT HLDGS LTD	情報技術
TRANSURBAN GROUP	資本財・サービス

*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
9 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド
(インスティテューショナルシェア・クラス)

9 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の-3.1%に対し、米国オポチュニティファンドは-5.1%でした。6 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 8 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、8 月末時点の組入銘柄数は 193 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄と投資比率（2015 年 6 月末現在／四半期ごとに更新）

銘柄	業種	組入比率
1 Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	3.9%
2 Dyax Corp	ヘルスケア	3.5%
3 ABIOMED Inc.	ヘルスケア	3.4%
4 Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	3.1%
5 Charles Schwab Corp.	金融	2.2%
6 L Brands Inc	一般消費財・サービス	2.2%
7 Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	2.1%
8 Delta Air Lines Inc.	資本財・サービス	2.1%
9 Amgen Inc.	ヘルスケア	1.8%
10 comScore Inc.	情報技術	1.7%

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1 ヘルスケア	34.9%
2 情報技術	28.1%
3 資本財・サービス	15.3%
4 一般消費財・サービス	12.4%
5 金融	4.8%
6 生活必需品	1.7%
7 エネルギー	1.0%
8 素材	0.9%
9 電気通信サービス	0.9%
10 公益事業	0.0%

T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド (インスティテューショナル・Iクラス)

9 月度の騰落率（ドルベース）はベンチマークであるラッセル 1000 グロース指数の-2.6%に対し、US ラージキャップ・グロース・エクイティファンドは-5.6%でした。8 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 68 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：40.7%）

銘柄	業種
Alexion Pharmaceuticals	ヘルスケア
Amazon.com	一般消費財・サービス
Boeing	資本財・サービス
Danaher	資本財・サービス
Facebook	情報技術
Google	情報技術
Morgan Stanley	金融
Priceline	一般消費財・サービス
Valeant Pharmaceuticals International	ヘルスケア
Visa	情報技術

業種別投資比率

業種	組入比率
1 ヘルスケア	28.2%
2 情報技術	23.8%
3 一般消費財・サービス	21.8%
4 資本財・サービス	13.9%
5 金融	6.1%
6 素材	2.3%
7 エネルギー	1.7%
8 生活必需品	0.9%
9 電気通信サービス	0.7%
10 公益事業	0.0%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (クラス I)

9 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の-2.6%、ラッセル 1000 グロース指数の-2.6%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは-2.7%でした。8 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 21 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：56.05%）

	銘柄	業種	組入比率
1	Ecolab	素材	7.10%
2	Amphenol	情報技術	6.50%
3	Charles Schwab	金融	6.14%
4	Quintiles Transnational	ヘルスケア	6.13%
5	Abbot Laboratories	ヘルスケア	5.59%
6	Apple	情報技術	5.17%
7	Priceline Group	一般消費財・サービス	4.98%
8	VF Corporation	一般消費財・サービス	4.85%
9	Verisk Analytics	資本財・サービス	4.80%
10	Mastercard	情報技術	4.79%

業種別投資比率

	業種	組入比率
1	情報技術	26.61%
2	一般消費財・サービス	22.06%
3	ヘルスケア	20.97%
4	資本財・サービス	13.56%
5	素材	7.10%
6	金融	6.14%
7	生活必需品	3.56%
8	エネルギー	0.00%
9	電気通信サービス	0.00%
10	公益事業	0.00%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
9 月度運用レポートニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA
＜適格機関投資家限定＞

9 月度の騰落率は対前月末比で MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）*の-7.7%に対し、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA は-4.4%でした。9 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 33 銘柄となっております。
 （当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	97.0%
短期金融資産など	3.0%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	6.2%
2	AMADEUS IT HOLDINGS SA	情報技術	スペイン	4.8%
3	ESSILOR INTERNATIONAL	ヘルスケア	フランス	4.8%
4	BAYER AG-REG	ヘルスケア	ドイツ	4.5%
5	L'OREAL	生活必需品	フランス	4.4%
6	CAPITA PLC	資本財・サービス	イギリス	4.4%
7	COLOPLAST -B	ヘルスケア	デンマーク	4.2%
8	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	フランス	4.2%
9	ARM HOLDINGS PLC	情報技術	イギリス	4.1%
10	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ヘルスケア	フランス	3.9%

*MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス（ユーロ建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA
＜適格機関投資家限定＞

9 月度の騰落率は対前月末比で MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て換算）*の-6.3%に対し、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA は-6.0%でした。9 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 37 銘柄となっております。
 （当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	94.1%
短期金融資産など	5.9%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	金融	中国	7.3%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	7.3%
3	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	6.0%
4	INFOSYS LTD-SP ADR	情報技術	インド	5.2%
5	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	4.1%
6	NETEASE INC ADR	情報技術	中国	4.0%
7	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	3.9%
8	CKH HOLDINGS	資本財・サービス	香港	3.9%
9	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インド	3.7%
10	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	生活必需品	メキシコ	3.4%

*MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て）の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（ドル建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
9 月度運用レポート

■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

■投資対象ファンドの選定条件

- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。
- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

■現在の組入れ対象ファンドについて

- ①バンガード 米国オポチュニティファンド
 主要投資対象：主に米国の株式に投資します。
 運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。
- ②TMA 長期投資ファンド<適格機関投資家限定>
 主要投資対象：マザーファンドを通じて国内外の株式及び国内外の債券に投資します。
 運用方針：生活者の視点から長期的に必要とされるビジネスを展開する国内外の企業を選別し、長期保有します。
- ③ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A <適格機関投資家限定>
 主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。
 運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。
- ④ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A <適格機関投資家限定>
 主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。
 運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行ないます。
- ⑤T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド
 主要投資対象：国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債、モーゲージ、アセット・バック債など譲渡可能証券から成る広く分散されたグローバルなポートフォリオに主に投資します。
 運用方針：リサーチ・リソースを最大限に活用して、グローバルに全ての投資機会を捉え、厳正なリスク管理を通じてリスク調整後のトータルリターン最大化を目指します。
- ⑥T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド
 主要投資対象：大型米国会社の譲渡可能株式および株式関連証券から成る広く分散されたポートフォリオに主に投資します。
 運用方針：平均を上回る収益成長率が期待でき維持できる可能性がある企業へ重点を置いて投資し、長期的な元本成長をもたらすことを追求します。
- ⑦スパークス・集中投資・日本株ファンド S <適格機関投資家限定>
 主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。
 運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。
- ⑧スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>
 主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。
 運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。
- ⑨アライアンス・バースタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ
 主要投資対象：主に米国株式に投資します。
 運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。
- ⑩スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S <適格機関投資家限定>
 主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。
 運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- お申込受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
- お申込単位：1 万円以上、1 円単位
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
- お申込手数料：ありません
- ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- ご解約請求受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた解約請求を当日の請求とします。
- ご解約単位：1 口以上、1 口単位
- 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 12 月 10 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



セゾン資産形成の達人ファンド 9 月度運用レポート

■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5832% (税抜 0.54%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む) および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インド指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668

(受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。